

# 令和4年度 第1回呉市地域公共交通協議会

## - 議 事 要 旨 -

日 時：令和4年8月3日（水）10時00分～11時30分

場 所：呉市役所本庁2階防災会議室

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 委員紹介

### 4 議 事

議案第1号 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算について 【資料1】

議案第2号 令和4年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）について 【資料2】

議案第3号 三条二河宝町線の移管に係る乗合バス事業計画（案）について 【資料3】

議案第4号 三条二河宝町線への車両導入に伴う移動円滑化基準適用除外認定申請  
について 【資料4】

### 5 報 告

・川尻地区生活バス見直しの取組状況について 【資料5】

・エアポートバス「呉広島空港線」の利用状況について 【資料6】

### 6 その他

### 7 閉 会



(1) 令和3年度事業報告及び歳入歳出決算について

発言者	発言要旨
■資料1について、事務局より説明	
土井委員	会計監査を行った結果、帳票及び証票等はいずれも正確であり、適正に処理されていることを認める。
江田会長	ご意見、質疑があればお願いします。ないようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一 同	異議なし。
江田会長	異議がないようなので、議案第1号は承認されたものとする。

(2) 令和4年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について

発言者	発言要旨
■資料2について、事務局より説明	
江田会長	本議案に関係して、神田委員が参画されている、アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」有識者検討会における議論の方向性など、せっかくの機会なので、支障のない範囲で紹介をお願いしたい。
神田副会長	新型コロナウイルス感染症が公共交通に与えた影響は大きく、現行の予算制度や地域の交通サービスの持続性に対する課題認識から、今年の3月に検討会が発足し、現在最終とりまとめの直前の段階である。 赤字に対する補助の複数年・複数路線化、交通手段と目的地が連携し、移動需要を創出する取り組みの支援等が検討されている。共創に関するモデル事業が既に選定され、全国で10件前後のモデル事業が展開されている。
江田会長	ご意見、質疑等があればお願いします。
塚井委員	都市間の移動についても、国の検討会で議論されているか。
神田副会長	都市間と市内の移動で分けて議論しているわけではなく、同じ枠組みで理解している。
塚井委員	オンライン会議の普及が呉広島空港線の移動需要に影響してくる。観光需要はある程度見込めるが、ビジネスについては出張需要自体が減ってくる懸念がある。今後の呉広島空港線に関する移動需要について、正確に調査すると費用もかかることなので、まずは協議会委員のみなさんから状況を聞いて、情報収集してはどうか。
江田会長	塚井委員からのご意見については、今後の事業計画の中で十分配慮してほしい。他にご意見、質疑があればお願いします。ないようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一 同	異議なし。
江田会長	異議がないようなので、議案第2号は承認されたものとする。

### (3) 三条二河宝町線の移管に係る乗合バス事業計画（案）について

発言者	発言要旨
江田会長	議案第3号は火岡委員が利害関係者に当たるため、退室をお願いしたい。
～火岡委員退室～	
■資料3，資料4について，事務局より説明	
江田会長	ご意見，質疑があればお願いします。
塚井委員	左回り・右回り共に1週の所要時間が50分と長いので，乗りこぼした場合に反対方向のバスに乗ることは難しい時間設定になっている。長い循環を短く分けて移動の活性化を図る観点はないか。
事務局	三条二河宝町線の移管にあたり，現状の運行形態を引き継ぐ方針としている。塚井委員ご指摘の点については，生活交通への移管後の乗降データを分析して，系統の整理を検討していきたい。
山根委員	移管にあたり，実務的な部分については，できる限り協力し，調整しながら進めていきたい。
江田会長	他にご意見，質疑があればお願いします。ないようなので，本2件については承認されたこととして異議はないか。
一同	異議なし。
江田会長	異議がないようなので，議案第3号，議案第4号は承認されたものとする。
～火岡委員入室～	

- 報告 -

#### ・川尻地区生活バス見直しの取組状況について

発言者	発言要旨
■資料5について，事務局より説明	
江田会長	質疑等があればお願いします。
江田会長	ないようなので，次の報告に移る。

#### ・エアポートバス「呉広島空港線」の利用状況について

発言者	発言要旨
■資料6について，事務局より説明	
江田会長	質疑等があればお願いします。
塚井委員	1日毎の乗車数の推移は確認できるか。主にビジネスである平日と観光利用の多い週末の差が観察できるか。
事務局	1日毎のデータを入手しているので，平日と週末の差を出すことは可能である。今後の定期報告で，平日と週末の差をわかるようにして報告させていただく。
山根委員	広島空港リムジンバスも新型コロナウイルス感染症の影響を受けており，コロナ前の5割程度に留まり，頭打ちの状態である。 曜日によって利用状況は異なるが，コロナ前は平日利用が多かったが，コロナ後は週末利用の方が多くなっている。
江田会長	他に質問はないようなので，報告事項はここまでとする。

その他

発言者	発言要旨
江田会長	全般を通じた感想やご意見があればお願いします。
城委員	議案第2号の令和4年度事業計画（案）に記載のある地域公共交通計画の作成において、策定前から地域住民へのきめ細やかな説明をお願いしたい。
荻野委員	丁寧な説明を行い、ご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。
赤木委員	議案第3号の三条二河宝町線の移管で運賃の支払い方法、ICカードの使用、定期券、乗り継ぎ割引、バスロケシステム、くるけんの使用などサービスが変わる予定はあるか。
事務局	サービスは原則現状維持で利用者に支障がないように考えているが、車両が小型化することは変更点となる。運行事業者の選定委員会において、事業者から車両小型化に対する配慮を提案いただいているので、支障はないと考えている。
塚井委員	<p>公共交通の利用はコロナ前の水準に戻らないとの予測もあり、また呉市内中心部においても収支の厳しい路線がある中で、発想を変えていかないと次の公共交通計画は厳しいものになるのではないかと懸念している。利用が少ない路線は減便、廃線になるが、それに対抗する力としてはお客さんに使っていただくしかない。従来のモビリティマネジメントは地球環境や健康管理を重視していたが、乗って残せというような沿線部で言われていたキーワードが入ってくる気がする。会議の中で移動や自動車の捉え方をどういうものにしていくかを少し真剣に議論していかなければならない。</p> <p>また観光客は荷物が多かったり、時間の制約があったり、土地勘が無いなど市民感覚と異なる部分があるので、そのときに対応できる公共交通機関を考えていかなければならない。</p>
神田副会長	<p>コロナ渦の中でいかに需要を広げていくか、需要を生み出していくか、需要の開拓を真剣に考えていくことが問われる。</p> <p>呉広島空港線の利用はここ2、3か月で利用が増えている。機内の客層も変わっており、観光客が増えた印象である。ただし観光客は一時利用が多く、ビジネス利用はヘビーユーザーが多いのでそれが減ったのは深刻でアプローチの仕方を考えないと今後は利用が伸びないだろう。民営化した広島空港とも情報交換して進めたらよいと思う。</p>
赤木委員	バス事業者の乗務員で新型コロナウイルス感染者が増えている。社内での感染ではなく、家庭内で感染である。広島市内のバス事業者もコロナの影響で一部減便が発生している。大きなバス事業者であれば、感染者が出ても対応できるが、生活交通事業者のような小さな事業者では感染者が出た場合、運休になる可能性がある。自社内で対応できない場合は他社に委託するなど対応の検討をお願いしたい。
寺尾委員	コロナ前はバス通勤であったが、感染リスクがあるのでバス利用を控えて、自転車通勤にしている。ただ、コロナ渦が落ち着けば、バス通勤に戻そうと思っている。他にも同じようにバス利用を控えている方がいると思うので、コロナの影響で利用者が減ったことを理由に、減便することは控えてほしい。
火岡委員	従業員に対する感染症対策は進めているが、生活バスは小学生のスクールバスを兼ねていて、朝晩はどうしても密状態となるので対応が悩ましいところである。
事務局	「タクシー得して呉キャンペーン」の紹介

火岡委員	現在夜のタクシー利用が特に低迷しており，通常タクシー利用をしない方に乘っていただき，利用促進したいと考えている。
江田会長	以上ですべての議事・報告を終了する。